

魯西南方言における特殊な文法表現

Unique Grammatical Expressions in the Dialect of Southwest Lu(Shandong)

馬 鳳如
Fengru Ma

魯（山東省の略称）南西部は、南は河南、安徽省に接し、東は江蘇省に臨む中国古代文化が栄えた地域である。この地域の方言は中国語の共通語である普通話の基礎方言の一つで、文法の面では普通話とほぼ一致するが、細かく検討すると地方の特色が存在することもわかる。本論は方言文法においてもっとも特徴がある計12種類の表現について検討する。それぞれについて文を中心として分析を加えるが、語句や、連文なども必要に応じて取り入れる。分析、比較を通じて、当方言の特色及び中国語文法変遷過程における痕跡を明らかにするであろう。

（一）並列表現

本方言の並列表現は共通語と比べ、形式が多く、なかでも、次の7つの形式が特に際立っている。

1, 「随 [suei42] A随 [suei42] B」

2つの動作（AとB）が同時に進行することを表し、動詞の前に用いる。共通語の「一边A一边B」（AをしながらBをする）とほぼ同じ用法をもつ。

他们随吃饭, 随说话。(彼らは食事をしながら、しゃべっている。)

钱根本没剩下, 都随挣随花啦。(お金がまったく残ってもなく、稼ぐはなから使ってしまった。)

这孩子真可怜, 随哭子着随走啦。(この子はかわいそうに、泣きながら帰った。)

2, 「A子B子」

上の「随A随B」と同じく、2つの動作が同時に進行することを表す。形式中の「子」は共通語の「着」と同じく動態助詞である。

咱说子走子吧。→咱随说随走吧(私たちは歩きながら話しましょう。)

他几个唱子跳子, 不知不觉到地方儿啦。→*随说随笑, 不知不觉到地方儿啦(笑ったり話したりしているうちに、いつのまにか目的地に着いた。)

3, 「V子A V子B」/「V1子A V2子B」

両方とも、2つの動作が同時に進行することを表すが、前者は2つの「v」が同じで、後者では2つの「v」が違う。また、2つの「v」が同じ場合には、「随A随B」と置き換えることができるが、違う場合はできない。

这雪赶子下赶子化。→这雪随下随化(この雪は降ったはなから溶けている。)

钱是紧子挣紧子花。→钱是随挣随花(お金は稼ぐはなから使ってしまった。)

吃子盘子里的, 看子碗里的。→? 随吃盘子里, 随看碗里(皿のものを食べながら、茶碗のものを見つめている。)

4, 「杭(是) [xaŋ42 (s)] A杭(是) [xaŋ42 (s)] B」

前後2部分はそれぞれ正面と反面、あるいは肯定と否定の角度から物事を表す。共通語の「时而A时而B」（時に～、時に～/～たり、～たりする）と同じ用法を持つ。連語、単文、複文および連文などの広い範囲に用いられる。連語と単文に用いる場合、中の「是」がつねに省略される。

杭大杭小时大时小(時には大きく、時には小さくなる)

杭高杭低时高时低(時には高く、時には低くなる)

杭好杭歹时好时坏(時にはよく、時には悪くなる)

杭有杭没有时而有时无(時にはあるが、時にはない)

杭去杭不去时而去时而不(時には行くが、時には行かない)

杭买着杭买不着时而买到时而买不到(時には買えるが、時には買えない)

这几天杭热杭冷。这几天忽热忽冷的(この2、3日、急に暖かくなったり、急に寒くなったりしている。)

他杭是十天半月不回家一趟, 杭是三天两头儿朝家跑。他时而十天半月不回家, 时而三天两头往家跑(彼は時には半月くらい家に帰らなかつたり、時には頻繁に家に帰ったりする。)

“杭是”は単独で用いることもできる。そういう場合は「时常」(常に)や「有时」(ときどき)を意味する。

头几年家里杭是吃喽上顿没下顿。前几年家里时常吃了上顿没有下顿(数年前、家ではいつも食料が足り

* 山口県立大学大学院国際文化学部

なかった。)

他杭是整夜整夜里不睡觉。他有时整夜整夜不睡觉 (彼は時には一晩中まんじりともしない。)

5, 「一马 [i213-21ma ·] A 一马 [i213-21ma ·] B」
状況変化のしかたが急に変わることを表す。共通語の「忽而A忽而B」(突然～たり, ～たりする)と同じ用法をもつ。

一马哭, 一马喜, 腚里夹个大蚂蚁。鲁西南儿歌: 一会儿哭, 一会儿喜, 屁股里夹着个大蚂蚁 (突然, 泣いたり笑ったりして, 恥ずかしくないのか。)

他一马这样说, 一马那样说。他忽而这样说, 忽而那样说 (彼はこう言ったかと思うと, すぐ別の言い方をする。)

また, 単県, 荷澤, 金郷, 臨沂などの部分農村では, 「一马」は単独で使うことができる。その場合, 時間副詞「突然」と時間名詞「刚才」(さっき)を意味する。例えば:

将才他还待这何哩, 咋一马不见啦。刚才他还在这儿呢, 怎么突然不见了 (彼はさっきまでここにいたのに, どうして急にいなくなったの。)

他一马还待这何玩子哩。他刚才还在这儿玩着呢 (彼はさっきここで遊んだのに。)

6, 「AA不AX」

肯定的假定と否定的假定2つの要素からなる並列的緊縮複文で, いろいろな内容を持つ形式である。他人の動作行為に対して, 肯定と否定の角度から假定し, 話者は自らの態度を表明する。共通語の「如果A就A, 如果不A就X」(やればやりなさい, やらなければ何々しろ)と同じ用法をもつ。

吃吃不吃拉倒。要吃就吃, 不吃算了 (食べるなら食べなさい, 食べなければそれまでだ。)

睡睡不睡出去!要睡就睡, 不睡就出去 (眠るなら眠りなさい, 眠らないなら出て行け。)

干干不干走人!要干就好好干, 不好好干就走开 (やるならまじめにやりなさい, やらなければ帰れ。)

7, 「爱A不A」

話者と関係がなく, 主語の成り行きにまかすことを表す。構造から見れば, 肯定的假定と否定的假定からなる並列的緊縮複文とみられる。2つのVが同じ動詞である。

他爱吃不吃。他愿意吃就吃不愿意吃就算了 (不用理他) (食べるか食べないかは, 彼の都合のよいようにしよう。)

你爱干不干。你想干就干, 不想干就算了 (没谁求你) (やるかやらないかは, 都合のよいようにしなさい。)

い。)

方言には, 「戴A不A」, 「愿A不A」もあり, 「爱A不A」とはほぼ一致する。また, 「爱A不A」は「AA不AX」とはかなりの共通点があるが, 語気の強さの面では, 違いが見られる。次の①と②の比較をみよう。

①你爱干不干。(やるかやらないかは, 都合のよいようにしなさい。)

②你干干不干走人! (やるならしつかりやれ, やらなければ出て行け。)

つまり, ①は主語の思いどおりにさせることを表現し, ②は主語の思うとおりにさせるわけではないということ表現し, 話者の強い意識で主語の動作行為を制約していると考えられる。

しかし, 主語と話者が重なる (共に「我」) 場合, 「爱A不A」と「AA不AX」の意味はほぼ一致する。次の③④を参照。

③我爱干不干。你管不着。(やるかやらないかは, ぼくの自由だから, 貴方と関係ないよ。)

④我干干不干拉倒。你管不着。(同上)

(二) 条件表現

本方言の条件表現は, 共通語と同じように, 必要条件, 唯一の条件, および無条件等を含んでいるが, 具体的な検討を加えると, さまざまな相違も存在することがわかる。

A, 必要条件文

次の3つの文型がある。

1, 「但是(里)A也/就B」

この形式は必要条件および譲歩假定条件の2種類を含んでいる。共通語の「只要A就B」, 「即使A也B」2つの文型と対応する。

年下, 但是里回来就回来。过年时, 只要能回来就回来 (正月に, 帰られるなら帰って来てください。)

高中但是里能上完就上完。高中只要能读完就坚持下来 (高校の勉強はできるのであれば最後までつけてやってほしい。)

但是里有一星法儿也不来麻烦你。即使有一点办法也不会来麻烦你呀 (仮に少し役に立つことがあったとしても, お世話にならないよ。)

但是里再加一点劲儿, 也考上啦不。哪怕再加一把劲, 也就考上了不是 (もうちょっとがんばったら合格はできるだろう。)

2, 「得是A就B」

1の「但是里A也/就B」とほぼ同じ用法をもつが,

意味上は、ある程度の仮定や可能の意味が含まれる。下例では大部分の「得是」が「能」と置換えが可能である。

过年哩，得是回来就回来。 → 过年哩，能回来就回来。

这个学，得是上咱就上。 → 这个学，能上咱就上。

家务事儿，他得是躲就躲。 → 家务事儿，他能躲就躲。

那种人，咱得是不惹就不惹。 → 那种人，咱能不惹就不惹。

* 这回考试，得是再松一点劲儿也考不上。

3, 「是个A就 / 都B」

ある条件がかなえられると、例外なく、必ずある結果が現れるという表現である。用法では共通語の「只要A就B」, 「但凡A就B」(Aさえすれば、よい/Bになる) にそれぞれ相当する。

是个笔就中。(筆なら、なんでもいいよ。)

是个当官儿的就行。(幹部なら、だれでもいい。)

是个人都比他精。(すべての人は彼より聡明だ。)

是个公鸡都会打鸣。(すべての雄鶏が時を告げることができる。)

B, 唯一の条件

主に2つの形式がある。

1, 「须里A不 / 才B」

唯一の条件を表し、ほかの条件とまったく関係せず、この条件でなければ動作行為が起これないことを示す。共通語の「非A不可」, 「只有A才B」(こうでなければならぬ) と同じ用法をもつ。

他须里去不行。(かれはどうしても行きたがっている。)

这事儿须里你办不中。(このことはあなたしかやれない。)

我须里卖完才走哩。(売り尽くすまで、私は帰らない。)

饭须里端到脸前头他才吃哩。(お膳を目の前に据えないと、彼は食べない。)

形式の中の「不 / 才」が「不可」を意味する場合、省略ができ、「须里」だけで用いることができる。

不叫他去，他须里去。(彼に行かせないが、彼はどうしても行きたい。)

这事儿还须里你里。(このことはあなたしかやれない。)

2, 「错过A才B」

よくない結果を回避したことを表す。共通語の「幸

亏A (才B)」とほぼ一致するが、時には、唯一の条件の意も含まれる。

错过你才能请动他。(幸亏你+只有你) (彼を誘ってくるのは、あなたしかできない。)

错过我留喽一手儿。(幸亏我) (幸いなことに僕は奥の手を全部出さなかった。)

3, 「除喽A (才)」

共通語の「除了A之外」と同じ用法を持っているほかに、時には「只有A才B」と一致する場合もある。

村里除喽他会收拾机子。村里只有他会修理机械 (村で機械修理ができるのは彼しかいない。)

这弟兄仨除喽小三捣蛋。(弟兄三个里面只有小三调皮) (この3人兄弟でいたずらをするのは三郎しかいない。)

C, 無条件

すべての条件のもとにある結果が出る表現である。特に次の4つの形式には注意が必要である。

1, 「随问谁 / 什么都 / 也B」

例外なく、すべてのことを表す。共通語の「无论谁 / 什么都 / 也 X」と同じ用法をもつ。

随问谁当队长我都没意见。无论谁当队长, 我都没意见 (誰が隊長になっても私は構わない。)

随咋咋问, 他也不吭气。无论怎么问, 他都不吭声 (どう聞いても、彼は声を出さない。)

2, 「甬管谁 / 什么都 / 也B」

用法は上述の1とほとんど同じく、「甬管」と「随问」の置換えが可能である。

甬管走到哪何, 都忘不了家。无论走到哪里也忘不了家 (どこへ行っても家のことが忘れられない。)

甬管谁, 也不能吃饭不交钱。不管是谁, 也不能吃饭不交钱 (誰であろうと食費は払わないといけない。)

3, 任A不B

すべての否定を表す。形式が固定的で、使用範囲が比較的狭い。

任事不懂 什么事也不懂 (何もわからない)

任人不见 任何人都不见 (誰にも会わない)

都十好几啦, 还任事儿不懂哩! (十いくつの年齢になったのに、まだ何もわからないようだ。)

4, 「A不A里呗」

話者の「するかしないかはどちらでもよい」, 「どうしてもかまわない」という態度表明を表す。無条件と考えられる。共通語の「A和不A一个样」(してもしなくても一緒だ) と対応する。文末の「呗」は省略できない。

他忙, 来不来里呗。他忙, 来不来没关系 (彼は忙しいから, 来るか来ないかは, かまわない。)

男的大几岁不大几岁里呗。男方大几岁不大几岁没关系 (男だから, 相手より少し年上でも年下でもかまわない。)

剩钱不剩钱里呗, 当紧吃饱。剩钱不剩钱没关系, 千万要吃饱肚子 (お金が残るかどうかはかまわない, 満腹になることが一番だ。)

(三) 因果表現

方言と共通語の因果表現には, 関連語の違いも, 文型上の違いもある。なかでも地方的特徴のある次の4つの形式がもっとも注目される。

1, 「得为[tei42-55uei·] A, B」, 「拥翁[yn213-21un·] A, B」

方言では「因为A所以B」の形式がなく, 代わりに原因を表す場合, 「得为」や「拥翁」が頻繁に使われる。「得为」と「拥翁」は同じ用法を持つので, 文中では置換えができる。

拥翁你, 她到如今没出门儿。因为你她至今没结婚 (君のために彼女はいまだに結婚していない。)

得为 / 拥翁分家, 兄弟不和。因为分家, 兄弟不和 (分家のことで, 兄弟は仲が悪くなった。)

拥翁家贫他当喽上门女婿。因为家贫他当了养老女婿 (貧乏なので, 彼は入り婿になった。)

你得为 / 拥翁啥打人? 你为什么打人 (君はなぜ人を殴ったのか。)

他得为 / 拥翁一点儿小事儿就发火。他为一点小事儿就发火 (彼はちょっとのことで怒り出す。)

2, 「A, 都是B里的事儿」

「全怪B」(すべてBのせいだ)を表す。やや強く責める語気, 時には不満を示す語気が入り, その対象は「是」の後ろの人或いは事物などである。形式中の「事儿」が理想とは違う結果の原因である。

都是你里事儿! 全怪你! (すべて君のせいだ。)

看看, 挨毁啦不? 都是肯吃嘴里事儿。看看, 挨打了不是, 全怪你贪吃 (ほら, 殴られたでしょう。食いしん坊だからだ。)

收成不好, 都是天旱里事儿。收成不好, 全是因为天旱的缘故 (収穫が悪いのはすべて雨が降らなかったためだ。)

時には, 「都是」が省略される。省略によって, 語気も弱くなる。

看看, 挨毁啦不? 肯吃嘴里事儿。看看, 挨打了不是, 怪你贪吃啊!

今年收成不好, 天旱里事儿。今年收成不好, 是天旱的缘故

「都是B里事儿」の中の対象Bが人称代名詞となる場合に, 「里事儿」が略されても意味に影響はない。

都是你! 都怪你 (すべて君のせいだ。)

哎, 都是我! 都怪我不好啊 (ごめん, すべてわたしのせいだ。)

哼, 都是他几个! 全怪他们 (ふん, すべて彼らのせいだ。)

否定式は「不是B的事儿」で, 対象者と関係がなく, 他の原因があることが表現される。

字写不好不是笔里事儿。字写不好不能怪笔 (应该怪人) (字をきれいに書けないのは筆のせいではない。)

收成不好不是天旱里事儿。收成不好与天旱没有关系 (与人的管理不善有关) (収穫の悪いのは雨が降らなかったためではない。)

这可没我里事儿。这可与我无关 (それは僕と関係ないよ。)

3, 「A, VOV 里的」

原因を強調するもう1つの表現である。まず結果(A)を述べ, その後結果を導いた原因を述べる。文は「Aは～をしたからである」の意を表す。

肚子疼? 喝凉水喝里。(お腹がいたい? 生水を飲んだせいだ。)

看看, 烂嘴啦不? 都是嚼舌根嚼里。(ほら, 口内炎になっただろう。減らず口をたたいているせいだ。)

4, 格言や俗語を引用し, 原因をのべる。

民間で広く用いられる分かりやすい格言や俗語が話者に引用され, 結果の原因として用いられる。

你啊, 不听老人言, 吃亏在眼前。(お前, 損をただろう, 年配者の忠告に耳を傾けなかったからだ。)

你冻里抗得慌? 冻的闲人, 饿的懒人。(寒いのか。寒さに凍える人は暇な人で, ひもじい思いをする人は怠け者だ。)

(四) 逆接表現

方言では, 共通語の代表的な関連語である「虽然A但是B」, 「尽管A却B」, 「但是」, 「然而」等表現がほとんどなく, 代わりに地域的な「虽说A倒B」, 「甬看A(倒)B」, 「A不, (倒)B」などが頻繁に使われている。

1, 「虽说A, 倒B」

一方を事実と認めながらも, そのために他方が成り

立たないわけではないことを表す。共通語の「虽然A但是B」と同じ用法をもつ。

虽说他头一趟来，倒不生。(彼は初めて来たのに、まったく不案内ではない。)

收成虽说不大好，粮食倒够吃里。(収穫はよくないが、食糧はまま足りる。)

2, 「甬看A(倒)B」

上の「虽说A倒B」とほとんど一致するが、語気の強さではやや軽い気がする。

甬看人家是市长，倒一点架儿没有。(あの人は市長だが、少しも尊大なところがない。)

你甬看这玩艺小，多贵不！(これは小さいけれど、たいへん高いよ。)

3, 「A不, (倒)B」

逆接表現の中でもっとも軽い表現だといえる。語気の強さでは上の1, 2と比べて、次のように表すことができる。即ち1>2>3。

这孩子炮仗不大不，不少装药。(この子は背が小さいが、よく食べるね。)

今年雨水少不，收成倒比年时还强哩。(今年雨があまり降らなかったが、収穫は去年よりさらにいい。)

また、「A不」は「虽说A(倒)B」および「甬看A(倒)B」と併せて使われる。

他虽说头一趟来不，倒不生。

甬看人家是市长不，一点架儿没有。

文における位置について、「不」は条件文の文末しか用いられない。「虽说」は主語の前後に用いられる。「甬看」は実際に「你不要认为那样」の意味であり、一般的主語の前にしか用いられない。比較してみよう。

虽说他头一趟来，倒不生。=他虽说头一趟来，倒不生。

甬看人家是市长，倒一点架儿没有。=*人家甬看是市长，倒一点架儿没有。

(五) 假定表現

假定関係の面では、方言の表現はかなり豊かで、共通語にない形式が多く見られる。方言に見られる假定表現として、次の8つの形式がある。

1, 「搦子着A, (就)B」

共通語の「如果A就B」と同じ性格を持つ、前の文節に用いる関連語である。後の文節の「就」はよく略される。

搦着那着，早叫社员砸煞了。沂水(あのときなら、

とっくに社員に殺されていただろう。)

这屋子，搦子我，今年就不盖。金乡(この家は、わたしだったら、今年は絶対建てないよ。)

搦子谁也得生气。菏泽(誰でも怒るだろう。)

2, 「一能A就B」

共通語の「一旦A(就)B」(いったん~をするなら)、「万一A(就)B」(万が一~をするなら)と同じ用法を持つ。また、方言の「一能A」は他の関連語と併用されず、単独で使う場合も多い。

他要一能不待家咋咋治？(彼がもし家にいないならどうする。)

到那何一能找不着人哪？(そこに着いても誰も見つけられないならどうする。)

这事儿一能叫他知道喽就麻烦啦。(このことが彼に知れたら大変だよ。)

3, 「不展」, 「不是」

結果や結論を冒頭に置き、原因を述べる部分を引き出す表現である。共通語の「如果不是A的话, 还B」(もし~でなければ, ~するだろう)とほぼ同じ用法をもつが、語順が異なる。

不是我还坐会儿，家来客啦。(結果—原因)

不是我上星期就回来啦，厂里大修，得加班儿。(結果—原因)

不展她还坐会儿，家来客啦。(結果—原因)

不展上星期就回来啦，厂里大修，得加班儿。

(結果—原因)

不是家来客啦，她还坐会儿。(原因—結果)

不是厂里大修，得加班儿，我上礼拜就回来啦。(原因—結果)

家来客啦，不展她还坐会儿。(原因—結果)

厂里大修，得加班儿，不展我上礼拜就回来啦。(原因—結果)

関連語「不是」と「不展」はほぼ同じ意味を持つが、用法の上で微妙なニュアンスの違いがある。「不是」は原因の前にも結果の前にも用いられるが、「不展」は結果の前にしか用いられない。

4, 「不就」

やや軽い逆接を表し、相手との意見交換の語気があり、共通語の「要不…就…」, 「不然…就…」に相当する。構造上は簡潔であり、「不就」の中に他の語句を挿入できないが、多くの内容を表現できる。

①这活儿不就过两天再干。(この仕事は2, 3日後にやってもよいのだが。)

②下月的工资不就先发下去？(来月の給料を前払いしましょうか。)

③不就您俩去趟？（もしよければ、お二人に行ってもらいたい。）

④菜都剩喽几天啦，不就擢喽吧。（このおかずはすでに2、3日残っているの、捨てよう。）

「不就」を使う場合に、一般的に、意味上、逆接と仮定の2つの条件が必要である。しかし、具体的なコミュニケーションの場では、この条件は、文法形式上は表現されず、常に字面に隠れている。上の①～④に隠れた内容が次のとおりである。

① a 这活儿应该现在来干（この仕事は今やった方がよいが）

b 要是你现在没空的话（もし暇がなければ）

② a 提前发下个月的工资不符合常规（給料の支給を繰り上げるのが慣例にあわないが）

b 要是大家都急用钱的话（もしみんなに急な出費があるなら）

③ a 虽然本来不该派你俩去（お二人の行く番ではないが）

b 要是你俩能去的话（もしお二人が行くことができれば）

④ a 虽然剩菜或许没坏（残ったおかずはまだ酸っぱくなっていないが）

b 要是你不反对的话（もしあなたが反対でなければ）

また、「不就」はかさねて用い、「不就A，不就B」形式になることもできる。こうなると、前後2つのうちの1つを選択することを表す。共通語の「或者A，或者B」，「要么A，要么B」と対応する。

不就你去，不就他去，反正您俩得去一个。（あなたが行くか、或いは彼がいくか、いずれにしてもお二人の中のどちらかが行かなければならない。）

这孩子不就送托儿所，不就送他奶奶家去，反正我不能带他上班了。（この子は保育園に預けるか、或いはおばあちゃんのところに預けるか、いずれにしても続けて子供を職場まで連れて行くのはどうしてもいやだ。）

5, 「就是A也/还B」

仮定兼譲歩の表れであり、共通語の「即便A也B」と同じ用法を持つ。

你只要想要，就是再贵也得买。（あなたがほしいなら、いくら高くても買ってあげる。）

我就是再忙也得来。（わたしはどんなに忙しくても来なければならない。）

就是小鸟还知道报娘恩哩。（雛でも母親への恩

返しを知っているのに。）

就是兔子还不吃窝边草哩。（ウサギでも巢の周りの草を食べないのに。）

6, 「喝子着A也B」, 「破子着A也B」

2つの形式は意味と用法が等しく、当方言の特徴のある仮定兼譲歩の表現である。共通語にするなら、「(即使) 豁出去…也…」となる。上述の「就是A也B」と比べてみると、意味上は、ほぼ動作主の受ける被害、あるいは好ましくないことを仮定の条件とする点に特徴がある。文法上では、構造の中に動詞、動詞的な連語しか挿入されないという特徴がある。

金乡例：破子这百十斤儿不要，也得给他干到底。（命を投げ出しても彼と最後まで戦わなければならない。）

菏泽例：喝子工作不干里个小舅子，也不能受这窝囊气。（仕事をやめさせられても、こんなには馬鹿にされない。）

7, 「A, A去」グループ

このグループには、つぎの①～④に分けられる。

①「A, A去」

この形式は主に話者の放任の意志を表し、また、自分自身とは一切関係がないというニュアンスがある。共通語にするなら、「要是A就放任他A去」（もし～がしたければ、自由にさせる）となる。「去」は軽声と発音する。

她哭哭去。她要是想哭就让她哭吧，（彼女が泣きたければ、泣かせておけばいい。）

他不来不来去，没啥。他要是来就来，不来，没关系（彼は来たくなければ来なくてもかまわない。）

你生气生气去。你要是生气，就生气吧（怒りたければどうぞご自由に怒りなさい。）

屋里乱乱去，我反正住不了几天。屋里乱就让它乱去吧（部屋はちらかっているが、もういい、どうせ僕は2、3泊しか泊まらないから。）

②「A, A吧」

話し手から軽い勧誘や了承を得る意を表す。上述の①との違いは話し手と直接な関係がある点である。共通語にするなら、「要A就A好了」（～がしたければ～をしなさい/してもよい）となる。

你走走吧，天都黑啦。（帰るなら帰りなさい、空が暗くなっている。）

他愿来来吧。（彼が来たければ来てもいい。）

您该吃吃吧，别等我。（皆さん、食事をする時間になったら、お先にどうぞ、私を待つ必要はない。）

③「A, A你/他的」

この形式は主に話者自身と主語の動作が一切関係がないことを表す。共通語にするなら、「你/他要是做, 那是你的事, 和我无关」(あなた/彼がやるなら, あなた/彼のことだから, 自分とは関係がない) となる。一般的に, この形式では肯定文が多い。

你走走你的, 我不拦你。(あなたが帰るなら, あなたの自由だから, 私は止めない。)

屋子愿盖盖他的, 我是帮不上。(家を建てるのは, 彼の自由だが, 僕は協力ができない。)

赚钱赚他的, 咱不眼热眼红。(彼が金を儲けているのは彼のことだから, 僕は羨ましくない。)

④「不A不A罢 [ba312]」

「～しなくてもかまわない」という寛容の意を表し, この形式には否定文しかない。共通語にするなら, 「即使不A也没关系」, 「不A就不A」, 「不A就算了」などとなる。

不去不去罢。(行かなくてもかまわない。)

这桩媒不愿意不愿意罢。(この縁談はやめてもかまわない。)

也不是啥值钱的玩艺儿, 掉喽掉喽罢。(つまらないものだから, なくしてもかまわない。)

8. 「蒙你狗儿里」と「狗蒙你」

どちらも誓いを立てる際に用いる表現である。相手に深く信じてもらうため、方言にはよく使われている。構造は短い、豊かな仮定複文の内容が表現される。共通語で表せば、「谁要是骗你的话, 他就是小狗子」となる。2つの形式（前者をA類、後者をB類という）は文法構造が異なり、A類は仮定的条件を先に、結果を後ろに並べるが、B類では反対である。方言ではA、B類ともよく用いられ、しかも相互には対応関係も存在している。使う頻度から見ると、A類が高く、特に複雑な文においては、ほとんどA類しか使われない。比較すると、下のようになる。

A 類 B 類

说空儿王八蛋哩！——王八蛋说空儿！（うそをついたら、僕はバカだよ。）

不来孙子哩！——孙子不来！要是哪个不来他就是孙子（来ないと、バカだよ。）

不敢去是您儿哩！——*您儿才不敢去呢！（行く勇気がなければ、お前の息子になってやる。）

文法の面から見れば、B類の文が共通語の条件文、たとえばよく見られる「傻瓜才不去」とよく似ているが、仮定の意を持つかどうかは2形式の重要な違いである。

疑問文にも用いることができるが、A類に限られる。

吭我狗里不？（私を騙したら、あなたがバカものだといってもいい？）

不来儿里不？（来ないと僕の息子になってもいい？）

(六) 比較表現

文法形式上から見ると、方言における比較関係の表現は共通語とかなりの共通点があるが、意味上の相違は大きい。方言の比較表現の形式として、次の6形式がもっとも注目される。

1. 「A X 似 B」

この形式は大まかに「AはBよりX」の意を表し、共通語にするなら、ほとんどが「A比B X」となる。

他大似我。他比我大（彼は私より年上だ。）

日子一天好似一天。生活一天比一天好（日々生活が向上していく。）

瘦死的骆驼大似马。瘦死的骆驼比马大（どんなに痩せているラクダでも馬より大きい。）

否定式は「A不X似B」（甲は乙よりAなわけではない）である。

论手艺, 他不差似师傅。论手艺, 他不比师傅差（腕からいえば、彼は師匠より下手なわけではない。）

他的力量头儿并不大似我。他的力气并不比我大（彼の力は僕より強いわけではない。）

2. 「A X B 数」

数量詞を入れて、甲乙両方の差を細かく表す。共通語にするなら、「A比B X 数」となる。

媳妇小我三岁。媳妇比我小三岁（女房は僕より3才年下だ。）

他高我十公分。他比我高十公分（彼は私より10センチ高い。）

这个短那个半截哩。这个比那个短半截呢（これはあれより半分ほど短い。）

3. 「A 跟/赶 B (X)」

両方のレベルが近づく、AがBに追いつくのを表す。共通語にするなら、「A赶上B（那么X）」（AがBほど(X)）となる。

他的个子也赶/跟他哥。（彼の身長はお兄さんほどになった。）

徒弟的手艺都赶/跟上师傅啦。（弟子の腕前は師匠に匹敵している。）

你写的字也赶/跟我的臭。（お前の字は僕と同じくらい下手だ。）

否定式は「A不跟/不赶/不胜B (X)」である。共通語にするなら、「A不如B (X)」や「A没有B (X)」

である。

这孩子不跟他哥。这孩子不如他哥哥（この子はお兄さんには及ばない。）

今年收成不敌年时。今年的收成不如去年（ことしの収穫は去年ほどではない。）

我去还不胜你来好哩。我去还不如你来好呢（私が行くよりあなたが来るほうがよい。）

下棋不赶当牌是味儿。下棋没有打扑克有意思（将棋をするより、トランプをやった方が面白い。）

黄河没长江长。黄河没有长江长（黄河は長江ほど長くない。）

这个还没那个好看哩。这个还没那个好看呢（これはあれほどきれいではない。）

4, 「A 给 B 样」

比喩の表現で、両方のある側面における共通点を強調する。共通語にするなら、「A 跟 B 一样/似的」（A は B と同じだ）となる。この形式は通常、形容詞を用いないが、どうしても用いる場合には、単純な形容詞ではなく、形容詞の連語を用いることは注目に値する。比較すると下のとおりでである。

a ①俺儿媳妇给俺闺女样。我儿媳妇像我的女儿似的（うちの嫁さんは娘に似ている。）

② * 俺儿媳妇给俺闺女样孝顺。

③俺儿媳妇给俺闺女样恁孝顺。（うちの嫁さんは娘と同じように親孝行だ。）

b ①他说的给唱的样。他说的跟唱的一样（彼の話し方は歌を歌っているようだ。）

② * 他说的给唱的样好听。

③他说的给唱的样恁好听。他说的跟唱的一样，听起来倒是好听（彼の話し方は歌を歌っているように聴きやすいのに。）

5, 「A 给 B 般 X」

この形式に形容詞を入れて、上の4と比べると、少しはっきりとA, Bの比較ができることがわかる。共通語にするなら、「A 跟 B 一样/一般 X」（A が B と同じ X だ）となる。この形式の中の形容詞は省略できず、しかも、プラス方向の形容詞しか用いられない。比較を見よう。

他给他哥般高儿哩。（彼はお兄さんとは身長が同じだ。）

* 他给他哥般矮哩。

张三给李四般大。（張三は李四とは同じ年だ。）

* 张三给李四般小。

老大给老二考里分儿般多儿。（長男と次男はテストの成績が同じだ。）

* 老大给老二考的~~分~~儿般少。

否定式には「A 给 B 般 X」, 「A 不给 B 般 X」があり、比較される各方に違いが存在することを表す。共通語にするなら、「A 与 B 不一样 X」（A は B と同じ X ではない）となる。

这个桌子给那个桌子不般高儿。这张桌子与那张桌子不一样高（このテーブルとそのテーブルは高さが違う。）

三班里学生给二班里不般多儿。三班的学生与二班的不一样多（3組の生徒数と2組の生徒数は違う。）

这根棍给那根棍不般长儿。这根棍子与那根棍不一样长（この棒とあの棒は長さが違う。）

6, 「甲照子着乙差远了」

「照子着」は「対照」, 「比照」で、本構造は比較する各方の格差が大きいことを表す。共通語にするなら、「A 与 B 相比差远了」, 「A 比 B 差远了」（A は B と比べて格差がずいぶんある）となる。

他的为人照子他哥差远了。他的为人比他哥哥差远了（彼の人柄は、お兄さんと比べてずいぶん違う。）

你这一口山东腔照子普通话可差远了。你这一口山东腔离普通话可差远了（あなたの山東弁丸出しの話し方は北京語とずいぶん違う。）

(七) 選択疑問表現

共通語の「是 A 还是 B」（A ですか、それとも B ですか）のような選択疑問文には、方言では合わせて5つの形式がある。共通語と同じものが2種類（「是 A 还是 B」と「A 还是 B」）、まったく違うものが3種類ある。共通語と異なる形式のものは次のとおりである。

1, 「是 A 是 B」

方言では「是 A 还是 B」だけではなく、「是 A 是 B」の形式もある。両者は同じ用法を持つが、使用頻度については、「是 A 是 B」の方が多くみられる。

你相中里是大妮是二妮？你相中的是大小姐还是二小姐（君が気に入ったのは長女ですか、それとも次女ですか。）

他考里是文科是理科？他考的是理科还是文科（あなたが受けたのは理系ですか、それとも文系ですか。）

晌午饭是擀面条是包包子？中午饭是擀面条还是包包子（昼食はうどんですか、それともマンジュウですか。）

2, 「是 AB」

「是 A 是 B」から後ろの「是」を省略した形式である。会話の中で区切りをいれられるのは「是」の前だけである。

你相中里 | 是大妮二妮？
 他考里 | 是文科理科？
 晌午饭 | 是擀面条包包子？

3, 「A是B」

「是A是B」から前の「是」を省略した形式である。話をする場合、区切りは2箇所に入れることができる。1箇所はAの前、もう1箇所は「是」の前である。

- a) 你相中里 | 大妮是二妮？
 b) 你相中里大妮 | 是二妮？

4, 「AB」

関連語を一切使わず、イントネーションで設問される。

你相中里大妮二妮？
 他考里文科理科？
 晌午饭擀面条包包子？

誤解が起こらない限り、人々はこの形式を用いることが多い。例はたくさんある。

你喝高度的低度的？（あなたはアルコール度が高いのを飲みますか、それとも低いのを飲みますか。）

钱存活期死期？（普通預金ですか、それとも定期預金ですか。）

他出里红桃黑桃？（彼が出したカードはハートですか、それともスペードですか。）

今儿里星期三星期四？（今日は水曜日ですか、それとも木曜日ですか。）

五一节张师傅的班儿你的班儿？（メーデーの日、張さんが勤務ですか、それとも君が勤務ですか。）

我说，你到底找啥样里人？推车里？打蛋儿里？轱辘锅里？卖蒜儿里？（ねえ、お前なあ、いったいどんな人で満足できるのか。車引きか、はじき玉を作る職人か、鍋にかすがいを打つ職人か、それともにんにくを売る農民か。）

(八) 受身表現

方言の受身形式で、もっとも多く見られるのが共通語と同じ「叫NV」であるが、共通語には存在せず、方言でのみ用いられる形式も2つある。

1, 「遭NV」

形式中の助詞「遭」が「遭受」（不幸または損害を受ける）の意を表すので、この形式は不幸なことまたは不利な状況にしか用いない。

店里遭土匪抢啦。商店被土匪抢劫了（店は匪賊に奪われてしまった。）

这件衣裳遭虫子咬过。衣裳被虫子咬过（この服は

虫に食われてしまった。）

安稳点，别遭人烦。安稳点，别让人家讨厌（静かにしなさい、人に嫌がられないように。）

小姐遭啥黄子污啦。小姐被什么东西玷污了（お嬢さんは何かでよごされた。）

上述の例文の助詞「遭」がすべて助詞「叫」に置き換えられる。また、受身形式中の動詞には省略することができるものもある。つまり、「遭NV」を「遭N」になっても、意味はほとんど変わらない。なぜなら、動作主Nからその動作が推測されるからである。

店里遭土匪啦。（匪賊→奪う）

这件衣裳遭过虫子。（虫→食う）

2, 「吃NV」

上述の「遭NV」とほぼ同じ形式である。

他吃人家暗算啦。他被人家暗算了（彼は他人のわなにかかってしまった。）

我吃了他两皮锤。我被他打了两拳（僕は彼にげんこつで2回殴られた。）

净吃他妈子嘴。老被他舅母骂（この子はおばさんによく罵られている。）

你吃罚是吃打吧？你是认挨罚还是挨打（処罰されたいか、殴りたいか、どちらを承知するのか。）

文法上からいえば、文が余り複雑でない場合には、上述の2つの形式も用いられるが、文が複雑なとき、特に補語を入れる場合には、上述の2つの形式を用いることができず、「叫NV」で表さなければならない。

(九) 引用表現

他人の言葉や文章を引用する方法についても、方言と共通語には違いがある。よく見られるのが次の2形式である。

1, 「N里文（来）」

「誰かが何かを言った」意を表す。引用される言葉のほとんどは口癖や習慣語などで、短くてきびきびしていて、話しやすく聞きやすいものである。

谁的文（来）：“吃饱喝饱不想家。”有人说过：“吃饱喝饱不想家。”（食べ物があればホームシックにかからないとある人がいった。）

他的文：“省子省子窟窿等子。”他常说：“省着省着窟窿等着。”（どう節約しようとしても、さまざまな費用があるので、どんな節約も無理だ。）

德州哥的文（来）：“一乏儿吧。”德州哥说过：“（下次）一块儿宴请各位（这次免了）。”（じゃ、みんな、今度あわせて招待するよと德州兄さんが言った。）

2, 「N里话来」

「誰かが言った言葉では」という意を表す。上述の「N里文(来)」と比べて、この形式で引用されるものの範囲の方がやや広い。つまり、口癖、慣用的な語句だけでなく、一般的な短い内容も引用できる。また、話者の引用されたものに対する態度が表されるかどうか「N里文(来)」と「N里话来」の間の重要な違いである。前者の場合は単純な引用で、話者が引用の内容に対して、賛成しても、反対してもよいが、後者の場合は引用した内容に多くが賛成すると考えられる。さらに、引用したものに自分の解釈を入れて解説する場合もある。たとえば：

谁里话来：“漂亮的脸蛋能接大米啊！”用某人的话来说，漂亮的脸蛋上是结不出大米来的（誰かも言っていたが、米は、美人の頬でつくられるのではない。）

那个芝麻官里话来：“当官不为民做主，不胜回家卖红薯。”按那个芝麻官的说法，当官就应该为民做主（あの下っ端の県官の話では、役人は庶民に奉仕することができなければ、辞めたほうが良いということだ。）

他里话来：“一个巴掌拍不响。”按他的话说，责任不在一方（彼の話では、一方だけの責任ではないようだ。）

(十) 比喩表現

方言では共通語と同じく「A像B似的」（「AはBのようである」）という形式があるが、方言の特有な比喩表現もある。

1, 「A给(个)B样/似的」

たまかに「AはBのようだ」の意味を表す。どの側面で甲乙が一致するかは、明らかにしていない。

这孩子给他爹样。这孩子跟他爹似的（この子はお父さんに似ている。）

你咋给个受气里媳妇子样？你怎么像个受气的媳妇似的（君はどうしていじめられた嫁のようなのか。）

他哭里给刘备样。他哭得像刘备似的（彼はまるで劉備のように激しく泣き叫んでいる。）

叫孩子气里我给啥样。让孩子把我气得不得了（子供は私をたいへん怒らせた。）

「给啥样」は文の中に「不得了」（程度がはなはだし）のような動作行為の程度を表している。

困里我给啥样。困得我不得了（わたしはたいへん眠い。）

累里孩子给啥样。累得个孩子什么似的（子供をたいへん疲れさせた。）

2, 「A给B样恁X」

この形式には形容詞の連語が用いられ、甲乙両方に一致する側面を明らかにしている。

他把一分钱看里得给个月老娘样恁大。他把一分钱看得像个月亮那么大（彼は1銭を月ほどの大きさと見る。）

长虫给擀面杖样恁长。蛇像擀面杖那么长（蛇は麵棒ほど長い。）

电脑给个笔记本样恁小。电脑像个笔记本那样小（パソコンはノートほどの小ささだ。）

3, 「A给B囊」（濟寧，兗州）

この形式は濟寧，兗州等少数県市で用いられる。上の「甲给(个)乙样/似的」とほぼ同じだが、多く貶す意味や中性の意味に用いる。たとえば：

他脸本里给二万囊。他脸绷得像纸牌的二万一样（彼はまじめくさった顔をしている。）

那人笑起来给哭里囊。那个人笑起来就像哭一样（彼の笑い方はまったく泣いているようにみえる。）

(十一) 処置の表現

方言で処置を表す形式には、共通語と同じ「把字文」があるほか、3つの形式が存在する。

1, 「拜 [pɛ 312]」字文 （A拜BV）

拜他叫来！把他叫来（彼を呼んでくれ。）

我拜这事儿忘得干净里哩。我把这件事忘得干干净净（わたしはそのことをすっかり忘れてしまった。）

甬拜钱掉喽。别把钱丢了（金を無くさないでね。）

2, 「来 [lɛ42]」字文 （A来BV）

警察来小偷押走啦。警察把小偷押走了（警察は泥棒を連行した。）

那孩子来他娘气得给啥样。孩子把他妈气得不得了（あの子はお母さんをたいへん怒らせた。）

甬来孩子吓着喽！别吓着孩子（子供を驚かささないで。）

3, 「[连 lia42]」字文 （A连BV）

连狗拴起来。把狗拴起来（犬をつなぎなさい。）

他连房子租出去啦。他把房子租出去了（彼は部屋を人に貸した。）

方言では、「把字文」を含めて、処置表現の形式が4つある。通常、それぞれを置き換えることができる。音声から見るなら、「把字文」と「拜字文」は近く、「来字文」と「连字文」は近いと考えられる。

(十二) その他の表現

当地の方言特有の文法表現である「V里杭」系列をまとめて検討していきたい。この系列は意味からの分

類が難しい。

1. 「V里杭」形

この構造は情況や状態がある態度に達することを表す。具体的な程度は話者がはっきり述べなくても、聞き手が心で悟る点に特色がある。程度を表す要素が「杭」である。文中のVは一般的につぎにあげる3つの意味上の特徴を持つ。まず、感覚を示す述語で、心身で感じられる動詞、形容詞であることが挙げられる。そして、この構造で示される感覚はほとんど好ましくないことであること、また、それらは、ほぼ受身動詞(形容詞)であることが挙げられる。構造全体から見れば、共通語の「V得慌」に相当するが、意味上、「V得慌」は下の①の特徴しか持たず、情況や状態が極端な程度に達することしか表せない。方言「V里杭」形は①と②の特徴を兼ね備えている。

热里杭：(①暑くてがまんできない ②暑い)

冻里杭：(①寒くてがまんできない ②寒い)

累里杭：(①疲れきっている ②疲れている)

饿里杭：(①お腹がすいてがまんできない ②お腹がすいた)

挤里杭：(①すし詰めである ②込み合う)

晒里杭：(①日にさらされて耐えられない ②日にさらす)

文法面から見れば、構造の前に程度副詞が用いられるか否かという、共通語との違いも存在する。「V里杭」の前には「血」、「怪」、「崩」、「有点」など、「とても」や「たいへん」、「すこし」の意を表す程度副詞は用いられる。共通語「V得慌」の方はできない。

方言 共通語

屋里血热里杭。 *屋里很热的慌。
(◎屋里很热 / 屋里热得慌)

(部屋には暑くて堪られない。)

崩恶影里杭。 *非常讨厌得慌。
(◎非常讨厌)

(たいへん嫌がれる。)

我有点儿累里杭。 *我有点儿累得慌。
(◎我有点累了 / 我累得慌)

(僕はすこし疲れた。)

你饿里杭呗？ *你饿得慌吗？
(◎你饿不饿？)

(お腹がすきましたか。)

疑問文やあるいは構造の前に「有点儿」を用いる場合に、「V里杭」構造は上述②の意味しか持たない。つまり、「你饿里杭呗？」と「你饿呗？」、「我有点儿累里杭。」と「我有点儿累」はそれぞれ同じ意味を表し

ている。

2. 「V里(个)N杭」と「NV里杭」

「V里杭」中、受動者を置ける位置は2箇所ある。次のA形式とB形式を比較してみよう。2つの形式は構造上も異なり、意味上も主動文と受動文の違いが明らかである。

A形式(主動文)

车灯照里(个)眼杭。车灯照眼, 眼不舒服

(ライトが目を照らし, 目がくらむ。)

喇叭聒里(个)耳朵杭。高音喇叭聒耳朵, 耳朵不舒服

(スピーカがやかましくて, 耳が耐えられない。)

烟呛里(个)鼻子杭。烟呛鼻子, 鼻子不舒服

(煙にむせて, 鼻が耐えられない。)

担子压里(个)膀子杭。担子压肩膀, 肩膀难受

(担ぐ荷物が肩に重みを加えて, 肩が耐えられない。)

鞋挤里(个)脚杭。鞋子挤脚, 脚难受

(靴がきつく, 足が耐えられない。)

毒天地晒里(个)脊梁杭。强阳光晒脊梁, 脊梁难受

(強烈な日光が背中に当たって, 背中が耐えられない。)

B形式(受動文)

眼照里杭。眼被照得不舒服

(?目がくらまされる。)

耳朵聒里杭。耳朵被聒得不舒服

(?耳がとどろかさされる。)

鼻子呛里杭。鼻子被呛得不舒服

(?鼻がむせられる。)

膀子压里杭。肩膀被压得难受

(肩が押さえつけられて耐えられない。)

脚挤里杭。脚被挤得难受

(足がしめつけられて耐えられない。)

脊梁晒里杭。脊梁被晒得难受

(背中が日に焼かれて耐えられない。)

B形式構造には一般的に主動者を導入することができない。例えば：

*眼叫车灯照里杭。 *膀子叫担子压里杭。

*鼻子叫烟呛里杭。 *脊梁叫毒天地晒里杭。

また、動詞が心理的動詞の場合に、ほぼB形式しかとれない。

A形式

*孤单里(个)我杭。——我孤单里杭。

(私は寂しく感じている。)

*烦里(个)他杭。——他烦里杭。

(彼はいらいらしている。)

*恶影里(个)我杭。——我恶影里杭。

(私はたいへん嫌悪している。)

3. 「V里(个)N给啥样」と「NV里给啥样」
「V里(个)N给啥样」と「NV里给啥样」はそれぞれ上述のA形式、B形式とかなりの共通点がある表現である。「给啥样」は情況あるいは状態の程度を表すが、具体的にどんな程度かははっきりしない。したがって、A形式、B形式の「杭」を「给啥样」または「给么样」、「给洪么样」に置きかえることができる。

这孩子气得他娘给啥样。这孩子把他娘气得不得了

(この子はお母さんをひどく怒らせた。)

他娘气里给啥样。他娘被气得不得了

(お母さんはひどく怒らされた。)

车灯照里个眼给啥样。车灯照得眼很难受

(ライトが照らして、目がたいへんくらんでいる。)

眼照里给啥样。眼睛被照得跟什么似的难受

(?目は照らされて、ひどくくらんでいる。)

烟呛里个鼻子给啥样。烟呛得鼻子不得了

(煙にむせて、鼻が耐えられない。)

鼻子呛里给啥样。鼻子被呛得不得了

(?鼻がたいへん煙にむせられている。)

しかし、構造の前に程度副詞が使えない点が「杭」文形式と違う。程度副詞より「给啥样」という比喩的表現の方がよりいきいきとした表現になるからだと思われる。

4. 統語レベルからの「杭」類と「给啥样」類の文の特徴の比較

動作の主体と対象を構造に取り入れると、つまり各部分が揃っている文からは「杭」類と「给啥样」類の文の性格が異なることが明らかになる。以下の5つの文型を検討しよう。(つぎのAは全体、Bは部分を表す)

①動作主—動詞—対象B—程度

「杭」構造も「给啥样」構造もこの文型を取り入れることができる。

车灯照里(个)眼杭。 车灯照里(个)眼给啥样。

烟呛里(个)喉咙杭。 烟呛里(个)喉咙给啥样。

②動作主—動詞—対象A—程度

この文型は「给啥样」類構造しか取り入れることができない。

车灯照里我给啥样。 *车灯照里我杭。

烟呛里(个)我给啥样。 *烟呛里(个)我杭。

③対象A—「叫」—動作主—動詞—程度

この文型は「给啥样」類構造しか取り入れることができない。

我叫车灯照里给啥样。 *我叫车灯照里杭。

他叫烟呛里给啥样。 *他叫烟呛里杭。

④対象B—「叫」—動作主—動詞—程度

この文型は「给啥样」類構造を取り入れることができるが、「杭」類構造を取り入れるとやや硬い表現となる。

眼叫车灯照里给啥样。 ?眼叫车灯照里杭。

喉咙叫烟呛里给啥样。 ?喉咙叫烟呛里杭。

⑤対象A—「叫」—動作主—動詞—対象B—程度

この文型は「给啥样」類構造を取り入れることができるが、「杭」類構造を取り入れるとやや硬い表現となる。

我叫车灯照里(个)眼给啥样。?我叫车灯照里(个)眼杭。

他叫烟呛里(个)喉咙给啥样。?他叫烟呛里(个)喉咙杭。

また、清代山東系作家の作品では類似する表現が多く見られる。例えば『醒世因縁伝』:

第4回:管家,你拿个茶杯来我吃几杯罢,这小杯闷的人慌。(執事さん,茶碗を出して何杯か飲ませてくれ。こんな小さな杯ではもの足りない。)

第34回:你主人家怕钱压的手慌么?(君の主人は金が嫌いなのか。)

第46回:自乍听了窝囊的人慌。(聞いてからずっとくさくさしている。)

附：方言共通語文法關係比較表

文法關係	方言形式	方言例	共通語形式	共通語例
並列	隨 A 隨 B	钱随挣随花啦。	(一) 边 A (一) 边 B	钱边挣边花了。
	A 子 B 子	吃子拿子	A 并且 B / 边 A 边 B	吃着并且拿着
	V 子 A V 子 B	赶子说赶子哭	一边 A 一边 B	一边说一边哭
	杭 (是) A 杭 (是) B	杭 (是) 去杭 (是) 不去	时而 A 时而 B	时去时不去
	一马 A 一马 B	一马哭, 一马喜	忽而 A 忽而 B	忽而哭, 忽而笑
	AA 不 AX	干干不干滚蛋!	想 A 就 A, 不想 A 就 X	想干就好好干, 不好好干就滚蛋!
	爱 A 不 A	我爱来不来。	愿 A 就 A, 不愿 A 就不 A	我愿来就来, 不愿来就不来。
条件	但是 (里) A 就 A	但是里能来就来吧。	只要 A 就 B	只要能来就来吧。
	但是 (里) A 也不 B	但是里有一星法儿也不来麻烦你。	即使 A 也不 B	即使有一点办法也不来麻烦你。
	得是 A 就 A	家务事他得是躲就躲。	只要能 A 就 A	家务事他得躲且躲。
	是个 A 就 / 都 B	是个笔就能写字儿。	只要 A 就 B	是支笔就能写字。
	须里 A 才 / 不 B	须里你去才 / 不中。	非 A 不 B	非你去不行。
	错过 A 才 B	错过你能请动他喽。	多亏 / 只有 A 才 B	只有你才能请动他, 多亏你了。
	随问谁 / 什么都 / 也 B	随谁当队长我都没意见。	无论谁 / 什么都 B	无论谁当队长我都没意见。
	甬管谁 / 什么都 / 也 B	甬管谁也不能吃饭不拿钱。	不管谁 / 什么都 B	不管是谁都不能吃饭不交钱。
	任 A 不 B	任啥不懂	任何 A 都不 B	任何事都不懂
因果	A 不 A 里呗	剩钱不剩钱里呗, 当紧吃饱。	A 不 A 都没关系	剩钱不剩钱没关系, 吃饱肚子最要紧。
	得为 / 拥故 A, B	得为分家弟兄俩嚷起来啦。	因为 A 导致 B	因为分家, 弟兄俩吵了起来。
	A, 都是 B 里事儿	他挨打, 都是肯吃嘴里事儿。	之所以 A, 是因为 B	他之所以挨打, 都是因为贪吃引起的。
	A, VOV 里	肚子疼, 喝凉水喝里。	之所以 A, 是以为 B	他之所以肚子疼, 是因为喝凉水的缘故。
逆接	格言, 俗语的引用	冻里闲人, 饿的懒人。	之所以 A 是因为 B	之所以挨饿, 是因为某人太懒了。
	虽说 A, 倒 B	虽说下雪, (倒) 不大冷。	虽然 A, 但是 B	虽然下雪, 倒不太冷。
	甬看 A, (倒) B	甬看不大, (倒) 血贵。	别看 A, 倒 B	别看不大, 倒很贵。
假定	A 不, (倒) B	这孩子炮仗不大不, 不少装药。	别看 A, 倒 B	别看这孩子个子不大, 却不少吃。
	搁子 A, (就) B	搁子我, 今年就不盖屋子啦。	如果 A, 就 B	如果是我, 今年就不盖屋子了。
	一能 A, (就) B	一能找不着他就快子回来。	万一 A, 就 B	万一找不着他就赶快回来。
	不展 / 不是	不展我还坐会儿, 家来客啦。	不然	不然我还坐一会儿, 家里来客人了。
	不就	下月工资不就先发下去?	要不 A 就 B	下月的工资要不就先发下去?
	就是 A, 也 B	就是再贵, 咱也买起喽。	即使 A, 也 B	即使再贵, 我也买得起。
	喝子 / 破子 A 也 B	破子这百十斤不要, 也得给他干到底。	即便 A, 也 B	即便拼上性命也要跟他干到底。
	A, A 去	他死死去。	要 A 就让他 A (放任を表す)	他要死就让他死。
	A, A 吧	你走走吧。	要 A 就 A 吧 (勧誘を表す)	你要走就赶紧走吧。
	A, A 你 / 他的	他走走他里, 我不拦。	要 A 就 A (話者と關係がないことを表す)	他要走就走他的, 我不阻拦。
	不 A 不 A 罢	你不去不去罢。	即使不 A 也没关系	你要是不愿意去, 不去也可以。
	蒙你狗儿里 / 狗蒙你	西乡里发大水啦。蒙你狗儿里。	谁要是骗你, 他就是小狗子的	西乡里发大水了。骗你是小狗子的。

比較	A X似B	这个强似那个。	A 比 BX	这个比那个好。
	AXB 数 B	媳妇小他三岁。	A 比 BX 数	媳妇比他小三岁。
	A 跟/赶 B	徒弟也跟上师傅喽。	A 赶得上 B	徒弟也赶得上师傅。
	A 给 B 样	这儿媳妇给个闺女样。	A 跟 B 差不多	这儿媳妇就像闺女一样。
	A 给 B 般 X	张三给李四般大里。	A 跟 B 一样 X	张三跟李四一般大。
選択疑問	A 照子 B 差远啦	他照子他哥差远了。	A 比 B 差远了	他比他哥差远了。
	是 A 是 B	你考的是文科是理科？	是 A 还是 B	你考的是文科还是理科？
	是 AB	你考的是文科理科？	同上	同上
	A 是 B	晌午饭擀汤是制馍馍？	是 A 还是 B	午饭是擀面条还是做馒头？
受身	遭 NV	庄稼遭水淹啦。	被 NV	庄稼被水淹了。
	吃 NV	这孩子净吃人家卷。	被 NV	这孩子老被人家骂。
引用	N 里文 (来)	七品芝麻官的文：“当官不为民做主，不胜回家卖红薯。”	某某有言	七品芝麻官说过：“当官不为民做主，不如回家卖红薯。”
	N 里话 (来)	他的话来：“公家里饭不吃白不吃。”	某某说过	用他的话说，就是“公家的饭不吃白不吃。”
比喻	A 给个 B 似的/样	这孩子给他爹似的，不肯说话。	A 像 B 似的/一样	这孩子像他爹似的，不爱说话。
	A 给 B 囊	他心眼儿给芝麻粒囊。	同上	他心眼儿像芝麻粒那样小。
	A 给 B 样恁 X	长虫给擀面杖样恁粗。	A 像 B 那么 X	蛇像根擀面杖那么粗。
処置	A 拜 BV	我拜他喊来。	A 把 BV (“把”字文)	我把他叫来。
	A 来 BV	警察来小偷押走啦。	同上	警察把小偷押走了。
	A 连 BV	他连房子赁出去啦。	同上	他把房子租出去了。
その他	V 里杭 V 里给啥样	我血累里杭。 气里我给啥样。	V 得慌 V 得不得了	我挺累得慌。 气得我不得了。

参考文献

1. 钱曾怡著『漢語方言研究的方法与实践』2002年 商務印書館
2. 钱曾怡主編 馬鳳如著『金鄉方言志』2000年 齊魯書社
3. 黄伯荣等編著『漢語方言語法調查手冊』2001年 廣東人民出版社
4. 钱曾怡主編 張鶴泉著『聊城方言志』1995年 語文出版社
5. 钱曾怡主編 馬静·吳永煥著『臨沂方言志』2003年 齊魯書社
6. 钱曾怡主編 張樹錚·羅福騰副主編『山東方言研究』2001年 齊魯書社
7. 单県地方史志編纂委員会編『单県志』1996年 山東人民出版社
8. 金郷県地方史志編纂委員会編『金郷県志』1996年 三聯書店
9. 濟寧市地方史志編纂委員会編『濟寧市志』2002年 中華書局
10. 曲阜市地方史志編纂委員会編『曲阜市志』1993年 齊魯書社